学校番号	３０１３

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　書道Ⅰ」　（教育図書）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによるさまざまな表現効果を学びましょう。
・楷書、行書などの古典の臨書を中心に、文字を書くための基本的な筆法や、美しい字形とは何かを学びます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書の美に親しみを持つ心情を育てます。

２ 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書体と書道 (書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・漢字の書体とその成立、「天」の字を使った書体の変遷	○	○	○	○	a:書写と書道の違いに興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,c) 提出作品(b,d)
5 6 7	楷書の学習	・唐の四大家の楷書の鑑賞と臨書 ・うちわに一文字制作	○	○	○	○	a:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:楷書の基本的な用筆方法を身に付け表している。 d:字形と線質が、文字の持つ雰囲気とどのように関係するかを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品(b,d)
8	硬筆の学習	実用的なボールペンを用いて美しく整った文字を書けるようにする。		○		○	a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解しそのよさを味わっている。	観察(d) 提出作品(b)
9	行書の学習	・蘭亭序の観賞と臨書	○	○	○	○	a:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:行書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:行書の基本的な用筆方法を身に付け表している。 d:筆の機能を理解しながら行書の呼吸を感じ取とり、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品(b,c)

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
10	篆刻の学習	・自分の名前調べ（各書体） ・姓名印(白文印と朱文印)の制作	○		○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻のよさや美しさを感じ取り、自らの意図に基づいて表現を工夫している。 c:刻印の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品(c)
11	漢字仮名交じりの書の学習	・カレンダーの制作 語句の選定 文字調べ 草稿制作 各自マーブリングした半紙に清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:創造的な表現にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品 (b,c)
12	生活の中の書	・年賀状 ・ペン字		○		○	a:整斉された文字や、はがきの表書きの書き方など、書写能力の向上に意欲的に取り組もうとしている。 b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:年賀状の基本的な表現方法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(d) 提出作品(b)

月	題材名	学習内容･活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 2 3	仮名の学習	･仮名文字の成立 ･平仮名単体から連綿へ ･蓬莱切の鑑賞と臨書	○	○	○	○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の基本的な筆使いを理解し、表現を工夫している。 c:仮名の基本的な筆使い連綿の美しさを身に付け表している。 d:日本文化における仮名文字の意義を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品(b,c)

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。